

令和元年度 施策評価表

施策	1801	道路網の整備	施策担当部等	都市整備部	部長	増田 正治
			施策担当課等	道路課	課長	田中 祐二
施策の方針	交通の利便性と安全性を確保するため、国道34号の整備促進、幹線道路や生活道路の整備を計画的に進めるとともに、「木場スマートインターチェンジ（仮称）」の整備を行う。					

【DO（実施）】
基本計画における目標値

①	指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	R1目標値	R2目標値	H30年度	
				H28実績値	H29実績値	H30実績値	R1実績値	R2実績値	達成率	進捗率
	① 都市計画道路の改良率	%	70.8	71.0	71.0	71.0	71.0	72.0	100.0%	98.6%
	② 木場スマートインターチェンジ（仮称）の整備進捗率	%	28.0	90.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0%	100.0%
	③ 市道の改良率	%	66.8	67.6	67.9	68.3	68.6	69.0	99.1%	98.1%
	④									
	⑤									

施策達成状況の説明	
①	都市計画道路の改良率 率については目標値と同じだが、整備を進めるも整備済の路線は無し。
②	木場スマートインターチェンジ（仮称）の整備進捗率 スマートインターチェンジについては平成30年3月18日に開通し、整備は終了した。
③	市道の改良率 経年劣化による維持管理費の増加に伴い、改良に必要な経費が減少傾向にあり、目標値を僅かに下回った。

施策経費

内訳	(単位:千円)	H30年度 決算	R1年度 予算	R2年度 見込	特記事項
		事業費	702,675	556,859	
	国庫支出金	109,866	92,855	137,486	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	261,400	219,725	423,200	
	その他	31,441	30,415	12,899	
	一般財源	299,968	213,864	300,437	
	人件費	93,009	109,599	-	
	フルコスト	795,684	666,458	-	

施策の概要

180101	国道34号の整備促進	国道34号大村-諫早間の4車線化については、慢性的な渋滞を解消するため、早期事業化を促進します。 また、市内中心部の拡幅についても、未整備区間の早期完成を促進します。
180102	幹線道路の整備	九州新幹線西九州ルートの開業等による交通需要の変化などを踏まえ、「池田沖田線」、「大村駅前原口線」など、都市計画道路の整備を進めます。
180103	木場スマートインターチェンジ（仮称）の整備	高速道路へのアクセス向上や幹線道路などの交通円滑化を図るため、木場スマートインターチェンジ（仮称）の整備を行います。あわせて、木場スマートインターチェンジ（仮称）から都市計画道路「久原池田線」までの市道整備を行います。
180104	生活道路の整備	市民生活における移動の利便性と安全性を確保するため、市道の計画的な整備とその他生活道路の維持管理等の促進に努めます。 また、長寿命化計画に基づき、道路施設の適切な維持管理に努めます。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題	①都市計画道路の改良率 改良については、多額の予算及び用地が必要となるが、事業費の内示率減及び用地・補償提供者との交渉に多くの時間を要している状況である。 ②木場スマートインターチェンジ（仮称）の整備進捗率 スマートインターチェンジについては、平成29年度末（3/18）に開通を迎えたが、アクセス道路について、一部用地・補償未契約か所が残っている。 ③市道の改良率 市道の経年劣化による維持管理費の増加により、改良に必要な予算確保が厳しい状況であるが、改良については選択と集中により整備を進めていく必要がある。 現在も各地区から年間数か所の改良要望があっているが、以前から要望を受けている地元関係者から、事業着手が遅い等の苦情が寄せられており、対応できていない状況である。
------------------	--

【CHECK (評価) 評価調整委員会】

問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての方	①都市計画道路の改良率 事業費の内示率減により進捗が図られない状況であるが、基金等の活用や代替地などの提案を行いながら、まずは、用地買収を着実に進めていく。また、今年度から始める都市計画道路の見直しにより、都市計画道路の実現性について検討を行うこととしている。 ②木場スマートインターチェンジ（仮称）の整備進捗率 木場スマートインターチェンジについては、すでに供用開始を行っているが、インターチェンジに取り付く市道改修の一部用地が買収合意に至っておらず、未整備となっている。引き続き交渉を行い、スムーズな通行となるように整備を早急に進める。 ③市道の改良率 地元からの要望や維持管理費の増加により、改良の予算確保が難しい状況である。事業実施の優先順位の再検討などを行いながら、予算の効率的な執行に努め、市道改良率の向上につなげていく。
--------------------------------------	--

【ACTION (改善・改革)】

問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての方	①都市計画道路の改良率 事業費の内示率減により進捗が図られない状況であるが、基金等の活用や代替地などの提案を行いながら、まずは、用地買収を着実に進めていく。また、今年度から始める都市計画道路の見直しにより、都市計画道路の実現性について検討を行うこととしている。 ②木場スマートインターチェンジ（仮称）の整備進捗率 木場スマートインターチェンジについては、すでに供用開始を行っているが、インターチェンジに取り付く市道改修の一部用地が買収合意に至っておらず、未整備となっている。引き続き交渉を行い、スムーズな通行となるように整備を早急に進める。 ③市道の改良率 地元からの要望や維持管理費の増加により、改良の予算確保が難しい状況である。事業実施の優先順位の再検討などを行いながら、予算の効率的な執行に努め、市道改良率の向上につなげていく。
--------------------------------------	--

令和2年度新規事業

	事業名（仮称）	担当課	R2年度見込	対象・事業概要など
			事業費（千円）	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	